

Curator's Eye

キュレーターズ・アイ
砺波周平展



2025
1.2
[thu]
|
3.2
[sun]

OPEN TIME
9:00~17:00

観覧無料

PLACE

ギャラリー・
エコー
(美術館エントランス)

CLOSE

12日(水)、17日(月)、25日(火)、
27日(月)、2月3日(月)、10日(月)、
1月6日(月)、14日(火)、20日(月)、



LANDING LAND

透 明 な 日 常

TONAMI SHUHEI



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

LANDING LAND

透 明 な 日 常

TONAMI SHUHEI

主催／山梨県立美術館



写真家・砺波周平は、ハケ岳の麓に家族と暮らしながら、全国各地に赴き写真を撮っている。ハケ岳での生活は一家の土台であり、家族の日常を撮り続ける砺波の写真の源でもある。

細川剛氏に師事した砺波は師の教えを受け、「自分の足元を見つめる」ことにこだわってきた。それは妻や娘たち、犬、猫とのごくありふれた日々を捉えることであり、また、家族を含む地域の人たちが生活を営むハケ岳の地を見つめることだ。撮影は常に自然光のもとで行われるため、被写体と相まって写真に“つくり込んだ”感じはなく、砺波家の日常を垣間見ている感覚を抱く。

娘と犬の散歩をしている際に撮影した、山と山を映す水面の写真に、砺波は「空気が透明だ」という言葉を添えている(<https://tonami-s.com>)。これは撮影時の新春の冷たい大気を形容した言葉であろうが、砺波の写真はどれも「透明な空気」に満たされているように感じられる。私たちが自分の目で見える世界と写真の中の世界との間には、当然時間と空間の隔たりがある。しかし、砺波の写真を見てみると、まるで自分の目で、写真に写し取られた景色そのものを見ているような印象を抱く。私たちの肉眼とカメラのレンズとの境界が限りなく近いように感じられるのだ。それは、自然光のもと、ふとした瞬間を写し切る技術と写真に向き合う姿勢に支えられており、「透明な空気」は写真から漂い出るように鑑賞者へと広がっていく。それゆえ鑑賞者は、砺波の家族の姿やハケ岳の峰、四季折々の散歩道など、生活環境は違えども、写真をともし自らの家族や日常の生活のごく小さな、しかし大切な一場面を思い起こすのではないだろうか。

砺波は札幌での高校時代から写真を撮っており、森山大道などの写真集を買っていたという。森山は1982年に《光と影》というシリーズをまとめた写真集を発表したが、その源には「写真とは何か」という根源的な問いと、フランスのニセフォル・ニエプスによる最古の写真があったという。ニエプスの写真は8時間もの露光により中庭を撮影したもので、それは窓から太陽光を入れることで像を定着させる必要があったゆえだが、窓からの光によって身の周りを写し取るという写真の起源は、砺波の作品に、彼のスタイルとして息づいている。砺波が見つめる山麓の暮らしの風景。その「透明な空気」の中に自らも包まれる体験を味わってもらいたい。

Curator's Eye

砺波周平展「LANDING LAND」

2025年1月2日(木)～3月2日(日)

PROFILE／1979年北海道出身/写真家。大学在学中から写真家の細川剛氏に師事する。大学のある青森県十和田市にてパートナーと古い家を直しながら暮すうちに、何気ない時間の中にたくさんの感動があることを知る。2007年にハケ岳南麓に移り住み、日々の暮らしに潜む感動を写真を通して見つめ続けている。現在、東京とハケ岳の二拠点で衣食住を中心とした出版、広告、ファッションなどの撮影で幅広く活動中。写真集『続・日々の隙間』発刊。暮しの手帖 第五世紀より4年に渡りトビウ写真を担当。食の雑誌dancyuにて『食の絶滅危惧種』隔月連載中。八十二銀行 季刊誌『地域文化』にてフォトエッセイ『A Day in the Life.』連載。



砺波周平
WEBサイト



砺波周平
Instagram

JR中央本線甲府駅より

JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統 御勅使、03・04系統 竜王駅経由数島営業所、35系統 大草経由韮崎駅、30系統 貴川団地各行きで約15分、「山梨県立美術館」下車。

※当館ホームページからもバスの時刻表をご覧ください。

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貴川交番前交差点を左折、国道52号を直進、約1km先左側。



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 山梨県甲府市貴川1-4-27

Tel: 055-228-3322 Fax: 055-228-3324

<https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

太田智子(山梨県立美術館学芸員)